

## 教材 4 言語クイズ

- ・クイズ方式で、言語の数の膨大さや、英語以外にも話者人口の多い言語が多く存在することを知る。また、日本国内にある言語の多様性や、危機言語について考えるきっかけにもなる。

ねらい : クイズを通して、世界の言語の実態について概観し、危機言語の問題などについて考える。

対象 : 小学校高学年以上

所要時間 : 20 分～45 分

準備 : クイズ（紙芝居、または P P T）

進め方 : 指導者がクイズを出し、それぞれに解説をつけていく。

留意点 : クイズの出典はエスノログを基本とする。

発展 : 詳しいクイズと解説は別章参照。

教材例 言語クイズ（小学生向けには紙芝居などにするとよい。）

① 世界にはいくつくらい言語があるでしょう

A 108

B 195

C 2796

D 6909 →正解

② 話す人の多い言語ベスト 10 は？

→正解は、中国語・スペイン語・英語・アラビア語・ヒンズー語・ベンガル語・ポルトガル語・ロシア語・日本語・ドイツ語の順

③ 50 年後には、言語の数はどうなっている？

A 増えている

B 減っている →正解（半減する）

C 変わらない

④ 手話は言語の仲間か、ジェスチャーの仲間か

→言語の仲間

⑤ 日本にはいくつ言語があるでしょう

→ 15（日本語 アイヌ語 中央沖縄語北奄 美大島語 南奄美大島語  
徳之島語 喜界語 沖永良部語 与論語 国頭語 宮古語  
与那国語 八重山語 朝鮮語（韓国語） 日本手話）

